

# H24年度 第1回 奈良県がん予防対策推進委員会

## (受診率向上部会) 議事要旨

日時：平成24年9月6日(木) 午後1時～3時

場所：奈良県医師会館 2階 会議室

出席者：

(委員) 大石元、堀川巳清、松田武彦、森高香代、松山神恵、今田順子

(事務局) 松山仁志、橋本安弘、大原賢了他

概要：(以下、主な意見・質問)

○部会長として大石委員を選出する

### (1) がん予防対策推進委員会の経過と課題について

○8/23のがん対策推進協議会での質問はどうか。

→(事務局) がん検診部会として、委員会の2年間の取り組みと成果について報告した。  
今までの取り組みにより、具体的な数字で、どのように変わってきているか示して欲しいという意見があった。

### (2) がん検診受診率の現状について

○高齢化が進めば、がんの死亡率は、高くなる。若い人など、年齢別のがん死亡率が以前と比較してどうか。

→(事務局) 75歳未満年齢調整死亡率は、年々減ってきている。22年度には、やや増加した。

○市町村では、若い人に検診を受けてもらいたい。がんで亡くならないように早期発見したい。それに関するデータを示して欲しい。

→(事務局) 後日情報提供する。

○がん検診受診率向上対策にかかる県の予算額に大きな差があると聞いているがどうか。

→(事務局) 報告されており、後日情報提供する。

### (3) 受診率向上に向けての今後の取り組み

①効果的・実践的ながん検診受診率向上策について

②がん検診の個別勧奨、再勧奨について

○個別の受診勧奨、再勧奨は非常に重要。お金がかかることなので、県としての支援が大切。

○がん検診受診率向上のための予算について、奈良県と他府県との差はどこにあるのか。

→（事務局）普及啓発に関連している独自の対策、取り組み。他県の先進地事例も参考にし、奈良県も取り組んでいく必要がある。

○受診者の台帳で対象者をきっちり把握して、通知することが重要。受診者と未受診者の把握は、台帳管理がされていないとできない。

### ③がん検診を勧める人材について

#### ④がん検診の普及啓発について

○村では、推進員の活動で受診率を伸ばしている。他の市町村でもこの活動があれば受診率の底上げになる。都市部での推進員の活動が有効にいかされているところがあれば教えて欲しい。

○未受診の理由に「がん検診を知らなかった。」があるが、まだまだ啓蒙啓発が必要。

○「受ける時間がない」「健康だから必要ない」については、具体的な取り組みが必要。

○県民大会などがんに関するイベントを継続させ啓発していくことが重要。

○ハガキやダイレクトメールによる通知は、有効である。特定健診の受診券送付時に、がん検診の案内文を同封する方法は非常に有効と思う。

○山間部の受診率は高いが、高齢者が多く、実際の受診者数は少ない。むしろ都市部の受診率に注目していく必要がある。

○身内をがんで亡くした人は、検診に対する関心は非常に高い。しかし一度、がん検診を受けると安心して、2～3年受けない。そのための啓蒙啓発が重要。

○貧血検査でがんがわかることもある。特定健診に貧血検査を追加してはどうか。

○医師会の立場は、非常に重要。どれだけがん検診に積極的に取り組んでもらえるかで受診率も変わってくる。

○かかりつけ医からのがん検診の受診勧奨は非常に重要。

○受診率向上のために、各市町村がさまざまな取り組みをしているが、受診率向上になかなかつながらない。まずは、モデル市町村を選定して取り組んでいけばいいのではないか。

○検診応援団として、奈良県と協定を締結している。全国47都道府県と締結が終わり、現在市町村単位での協定を締結しているが、まだ奈良県内の市町村とは締結していない状況。

○応援団企業として、市町村のがん検診受診率向上の推進に協力したい。

○乳がん、子宮がんについては、無関心層もあるが、羞恥心もあるのではないか。がんの怖さや検診の必要性がわかれば、羞恥心にとらわれなくなると思う。

○受診率向上のためのイベントとして「受けてよかったがん検診」など、コンクールで募集するのも1つの方法では。

○受診勧奨の方法として、対象にあったメッセージで勧奨することが重要だとわかったが、タイプを見極める方法がわからない。

- 台帳整備の重要性はわかるが、市町村で実施しているがん検診の受診者は把握できているが、人間ドックや企業の健診の受診者は把握できていない。安堵町が未受診の理由を聞いているということなので参考にしたい。
- 年齢別や集団、個別別の受診率を教えて欲しい。
- 応援団企業と具体的にどのように連携していくのか、締結をするとどのようなメリットがあるのか。
- 特定健診を勧める中で、市町村にがん検診の同時実施をお願いしているが、特定健診とがん検診の担当課が異なるので、連携がとりにくい。
- 「がん検診に関する標語」をこどもの夏休みの宿題などですれば、親子でがんを考えるきっかけになるのではないか。

#### (4) 奈良県がん対策推進計画の方向性について

- 国の目標とする、受診率50%は、死亡率を10%減少させるために必要とされた受診率。
- がん検診受診率の目標設定について、胃・肺・大腸がんについては、国に準じ40%にするか、今まで通りの50%にするのかの2とおりの考えがある。次回に意見をいただく。